

みずほCustomer Desk Report 2024/04/22 号(As of 2024/04/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	154.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	154.61	1.0642	164.47	1.2434	0.6423
SYD-NY High	154.68	1.0678	165.02	1.2467	0.6432
SYD-NY Low	153.59	1.0611	163.05	1.2367	0.6363
NY 5:00 PM	154.63	1.0657	164.81	1.2370	0.6419
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,986.40	211.02	日本2年債	0.2600%	▲0.0100%
NASDAQ	15,282.01	▲ 319.49	日本10年債	0.8300%	▲0.0300%
S&P	4,967.23	▲ 43.89	米国2年債	4.9858%	▲0.0036%
日経平均	37,068.35	▲ 1,011.35	米国5年債	4.6702%	▲0.0093%
TOPIX	2,626.32	▲ 51.13	米国10年債	4.6218%	▲0.0140%
シカゴ日経先物	37,135.00	▲ 685.00	独10年債	2.5045%	0.0120%
ロンドンFT	7,895.85	18.80	英10年債	4.2260%	▲0.0490%
DAX	17,737.36	▲ 100.04	豪10年債	4.2530%	▲0.0520%
ハンセン指数	16,224.14	▲ 161.73	USDJPY 1M Vol	8.70%	0.15%
上海総合	3,065.26	▲ 8.96	USDJPY 3M Vol	8.90%	0.03%
NY金	2,413.80	15.80	USDJPY 6M Vol	9.13%	▲0.01%
WTI	82.22	0.12	USDJPY 1M 25RR	▲1.73%	Yen Call Over
CRB指数	298.15	2.54	EURJPY 3M Vol	8.98%	0.21%
ドルインデックス	106.15	0.00	EURJPY 6M Vol	9.22%	0.07%

東京	東京時間のドル円は154.61レベルでオープン。株式市場が軟調に推移するのを横目に、方向感に欠ける値動きとなっていたが、イスラエルがイランに攻撃したとの報道が流れると、ドル売り円買いの流れが強まり、一時153.59を付ける場面が見られた。しかし、その後は、中東情勢に関する報道が錯綜するなか、昼過ぎにかけて値を戻す展開となり、結局154.38レベルでクロス。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.38レベルでオープン。中東情勢の緊迫化でアジア時間に買われた円だが、イラン側が即座に行動を起こす見込みが低いとみられてか巻き戻し、154.61まで上昇し、154.60レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。東京時間では、本邦3月CPIが予想を下回るも、ドル円は反応薄。その後、「イスラエルがイランへの攻撃を実行した」との速報が伝わると、市場はリスクオフの円買いで反応し、153.59まで下落。その後は今回の攻撃は限定的との見方が広がり、中東情勢の緊張が後退した事から、円が売り戻され、154.60レベルでNYオープン。日中は材料が乏しい中、154.47まで小幅下落する場面もあったが、その後ゲールズビー・シカゴ連銀総裁の「今年はこれまでのところインフレ面での進展が失速している」との発言を受け、154.60近辺まで戻す。午後も154.60付近を中心とした狭いレンジ推移が続き、154.63レベルでクロス。一方、海外時間のユーロドルは1.06台半ばでスタート。先述の中東情勢不安を背景とした、リスク回避のドル買いが先行し、1.0611まで下落。その後は中東情勢の緊張化が後退した事を受け、欧州株が反転上昇する展開に買い戻しが入り、1.0652レベルでNYオープン。午前中は独金利が上昇する展開をサポートとし、1.0678まで上昇。しかし、その後は上昇していた独金利が低下する動きに上値を抑えられ、1.0640まで反落する。午後は小幅反発し、1.0650付近を中心とした推移後、1.0657レベルでクロス。

金融市場部 為替営業第二チーム

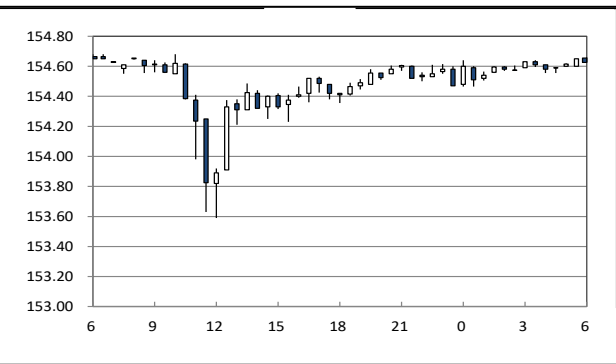
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月19日	08:30	日 全国(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	3月 2.7%/2.6%/2.9%	2.8%/2.7%/3.0%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	3月 -0.3%/0.4%	0.3%/1.0%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/-2.9%	0.1%/-3.3%

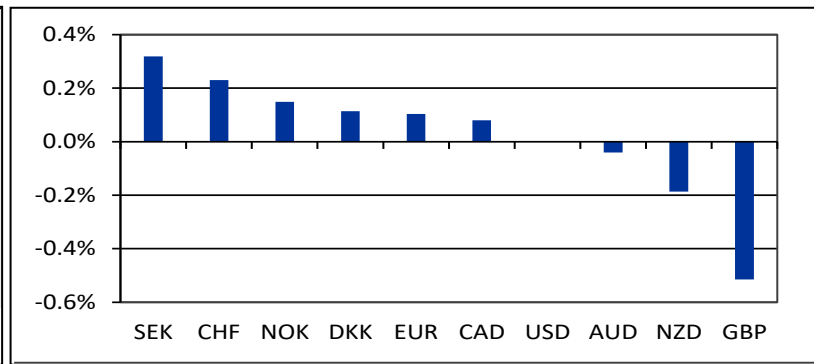
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	3月 0.09	0.05
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	4月 -14.5	-14.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.90-155.00	1.0600-1.0720	163.80-165.50

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は、東京時間に中東の地政学リスクの高まりから、一時153.59まで円高が進むも、その後は巻き戻されNY時間のFRB高官のタカ派発言等もあり、154.63まで戻して越週した。先週は中東情勢の緊迫化やG20での発言、声明を受けた介入懸念などで一時的に円高に反応する場面も見られたが、すぐに持ち直しドルの底堅さを示した。中東情勢については、原油価格の高止まりから中期的には財インフレの再加速につながる懸念があることを踏まえれば一方的な円高材料とはなりにくいとする。今週日銀会合、来週にFOMCを控える中、本日はイベント少なく、方向感の出づらいつ展開を予想する。155円の節目を前に、介入懸念が上値を抑えようが、下落局面では押し目を拾う動きも強く、引き続きドルの底堅さは継続しよう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。